

効率的なオペレーションとお客さまの利便性を高める サービスアイテムとしてセルフオーダー端末を導入

(株)スターランド「スーパースターNAVI」導入店レポート

全国のレジャー・サービス施設で 導入が進む「スーパースターシリーズ」

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケ施設をはじめ、温浴施設や複合カフェ、キッズランド、飲食店、パブ、ホテルなど、アミューズメント施設向けに、12バージョンがラインナップされており、全国のさまざまなレジャー・サービス施設への導入が進んでいる。納入実績は、実に2,000件を超えるヒットシリーズとなっている。

「東名ボール」 ——効率的なオペレーションを支える 不可欠な存在として導入を推進

東名高速道路・名古屋ICから車で20分ほどの距離に位置する愛知県瀬戸市内で、1972年の開業以来、地元へ根ざした複合アミューズメント施設として親しまれている「東名ボール」が、従来のボウリング場とアミューズメント施設に加えて、全11室のカラオケルームと最大80人収容可能なカラオケ付パーティールーム1室を併設し、2010年11月20日にリニューアルオープンした。

地上2階建てからなる東名ボールは、1階にボウリング場(全48レーン)とフード&ドリンクコーナーが、2階にはビリヤードやダーツコーナーのほか、SEGAが展開するアミューズメント施設からなり、新設されたカラオケは中2階の位置にある。

複合アミューズメント施設の魅力は、なんとといっても豊富なレジャー・アミ



「東名ボール」(愛知県瀬戸市西原町2-114)。セルフオーダー端末の利用を積極的に推進したことで、ほぼ100%の飲食オーダーをカバーするに至っている

ューズメントサービスの集積にあるといえるが、今回のカラオケゾーンの増設は、既存顧客はもちろん、カラオケ目的客の集客にもつながるものとして期待されるだけでなく、新たな収益源としても期待される。

そして、その収益構造を支える切り札として導入されたのが、スターランド社の「スーパースターシリーズ」である。

「カラオケの運営については、当初から必要最小限のスタッフを予定していました。そのため、いかに効率的な運営を行なえるかということを前提にサービス体制を構築することに注力した結果、セルフオーダー端末の導入に至ったのです」と語るのは、同施設を運営する東名興業(株)の営業部課長である中根誠氏。

加えて、「セルフオーダー端末の導入は、利用者サービスの向上という視点からみても有効です。さらに、施設側にとっても、オーダーミスの防止はもちろん、インターフォン混雑における飲食オーダーロスの削減にもつながります。また、お客さまをお待たせすることなく、スムーズに精算を行なえることも大きな魅力です」(中根氏)と語る。



さらにいえば、カラオケの飲食は1階のフード&ドリンクコーナーから提供されることもあり、カラオケ利用客以外の利用者もある同コーナーの厨房スタッフにとっては、セルフオーダー端末の導入はまさに効率的なオペレーションを実践するうえで欠かせない存在となっている。このため、同店ではフロントスタッフが積極的にセルフオーダー端末の利用を呼びかけることで端末の利用率を高めることに注力している。

その結果、インターフォンが併設されているにもかかわらず、若者からシニア層といった幅広い年齢層の利用があったこの年末年始は、「ほぼ100%がセルフオーダー端末からの飲食オーダーでした」(中根氏)とのことで、効率的なオペレーションを支えるために導入したスターランド社のセルフオーダー端末の導入効果を高く評価している。

問い合わせ先

(株)スターランド
〒426-0037 静岡県藤枝市青木3-14-1
☎0120-007-009
FAX.054-644-5034
URL <http://www.starland.co.jp>